

3. レッドデータブックの記載内容と項目

●種名（亜種名）

和名と学名を記載した。
学名については、命名者も含む。

●動物群名

目名と科名を記載した。

●カテゴリー

石川県カテゴリー いしかわレッドデータブック〈動物編〉2009 のカテゴリー区分を記載した。
国カテゴリー 環境省レッドリスト(2006～2007)のカテゴリー区分を記載した。

●選定理由

選定評価の理由を記載した。

●形態

形態について記載した。

●国内分布

国内の分布状況について記載した。

●県内分布

県内の分布状況について記載した。

●生態

生態について記載した。

●生息地の条件

生息環境について記載した。

●生存の危機

生存に対する脅威等について記載した。
また、掲載種における生存危機の要因を分類化するため、原則として別表 1 及び 2 を用いて A～D に分類し、末尾に付記した。

●特記事項

学術的意義、希少種指定、天然記念物等について記載した。

●参考文献

特に重要な文献等について記載した。

●写真

生態写真または標本写真を掲載し、写真提供者の氏名を記載した。

●分布図

生息地を 2 次メッシュ（10km 四方）または 2 次メッシュの 1/4（5km 四方）により表示した。
なお、一部の種については以下のいずれかの理由から表示をしていない。

- ①生息地の公表により、悪影響が懸念されるため。
- ②生息地に関する十分な情報がないため。

情報不足種については、上記項目の一部についてのみ記載した。

危機要因の分類について

環境省発行の「第 3 次生物多様性国家戦略（2008 年 3 月）」第 2 章に挙げられた生物多様性の危機の構造として、その原因及び結果を分析した 3 つの危機とその他の要因を A～D に分類する。

別表 1

コード	危機の定義	タイプ区分 (別表 2)
A	第 1 の危機 (人間活動や開発による危機) 人間活動ないし開発が直接にもたらす種の減少、絶滅、あるいは生態系の破壊、分断、劣化を通じた生息・生育空間の縮小、消失	11, 12, 13, 14, 15, 16, 17 21, 22, 23, 24, 25 31, 32, 41, 42, 43, 51
B	第 2 の危機 (人間活動の縮小による危機) 生活様式・産業構造の変化、人口減少など社会経済の変化に伴い、自然に対する人間の働きかけが減少撤退することによる里地里山などの環境の質の変化、種の減少ないし生息・生育環境の変化	53, 54
C	第 3 の危機 (人間により持ち込まれたものによる危機) 外来種など人為的に持ち込まれたものによる生態系の攪乱	52, 56, 57
D	上記 3 つの危機に分類できない危機要因による場合	55, 61, 62, 71, 99

別表 2 存続を脅かしている原因のタイプ区分

原因	コード	原因	コード	原因	コード
森林伐採	11	道路工事	24	遷移進行・植生変化	54
湖沼開発	12	ダム工事	25	火山噴火	55
河川開発	13	水質汚濁	31	帰化競合	56
海岸開発	14	農薬汚染	32	異種混雑・放流	57
湿地開発	15	園芸採取・観賞用捕獲・狩猟	41	産地極限	61
草地開発	16	薬草採取	42	近交化進行	62
石炭採掘	17	その他の不法採取など	43	その他	71
ゴルフ場	21	踏みつけ	51	不明	99
スキー場	22	捕獲者進入	52		
土地造成	23	管理放棄	53		

(環境省レッドデータブックより)